

APS-C サイズカメラ用 3D VR レンズ「RF-S3.9mm F3.5 STM DUAL FISHEYE」が 米国の国際的なデザイン賞「IDEA 賞」で最高位となる「金賞」を受賞

キヤノンの APS-C サイズカメラ用 3D VR レンズ「RF-S3.9mm F3.5 STM DUAL FISHEYE」が、アメリカ・インダストリアル・デザイナー協会（Industrial Designers Society of America）が主催する「2025 年 IDEA 賞（International Design Excellence Awards 2025）」において最高位となる「金賞」を受賞しました。キヤノンの「IDEA 賞」での「金賞」受賞は初めてとなります。



RF-S3.9mm F3.5 STM DUAL FISHEYE
（APS-C サイズカメラ用 3D VR レンズ）



持ち運びに優れた小型・軽量設計

IDEA 賞は、経済と生活の質に深く関わるデザインの価値を、一般やビジネス界に伝えることを目的として 1980 年に設立された、世界的に権威のあるデザイン賞です。審査は、製品の機能や美観だけでなく、革新性、ユーザーベネフィット、社会性などの観点から行われます。毎年、工業製品をはじめ家電や家庭用品、乗り物、スポーツ用品、家具などの優れたデザインのほか、デザイン戦略やブランディングなど、幅広い分野を表彰しています。

近年、エンターテインメントや観光、教育など幅広い産業において VR の活用が広がっています。このたび金賞を受賞した「RF-S3.9mm F3.5 STM DUAL FISHEYE」は、初めて 3D VR 映像撮影に挑戦するユーザーのニーズに対応し、手軽に 3D VR 映像撮影が可能な APS-C サイズカメラ用のレンズです。対応する「EOS R シリーズ」のカメラ※1との組み合わせにより、本格的な 3D VR 映像の撮影ができます。また、全長約 54.6mm、質量約 290g の小型・軽量設計と、画面全体での高画質を両立しています。

本製品は、光学機器としての信頼感と、気軽に使える親しみやすさを両立したデザインが特徴です。正面の形状は、撮影対象に安心感をもたらすことを意識した滑らかな三次曲面にしています。背面の根元は大きく削り、カメラのグリップがしっかり握れる空間を確保しています。また、対応する自社カメラと組み合わせた際のグリップ位置や手との関係性を考慮しているため、手の映り込みを気にすることなくダイナミックに撮影することができます。

キヤノンは、今回の受賞を励みとして、今後も性能とデザインを高度に融合させた製品づくりを続けていきます。

※1 2025 年 9 月 18 日時点での対応カメラは「EOS R7」、「EOS R50」、「EOS R50 V」。最新のファームウェアの適用が必要です。